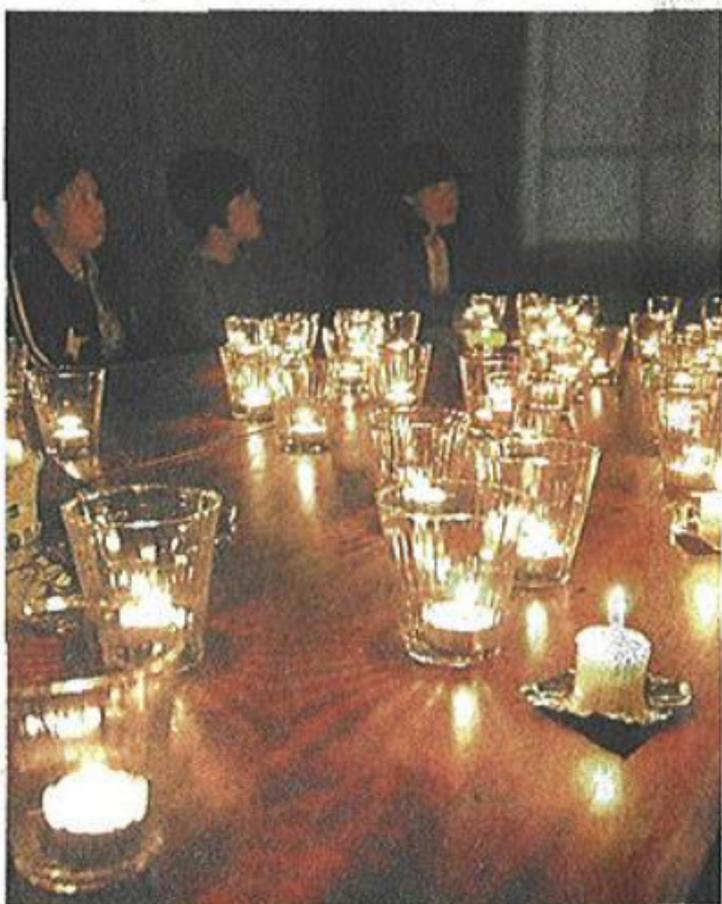


「原爆の残り火」 ともし平和思う

小倉北区でキャンドルナイト



約40本のろうそくが灯された中で開かれた「小倉キャンドルナイト」

夏至の日に原爆の残り火をともし、平和を考え「小倉キャンドルナイト」

が21日夜、小倉北区であり、ろうそく40本の明かりが揺れる厳かな空

間の中、参加した20～40代の市民が、戦争の悲惨さや平和の尊さをかみし

めた。主催したのは市民グループ「キャンドルナイトワンピース北九州」。実行委員長の土谷重幸さんがこの日、ろうそくの種火をもらった星野村の「平和の火」の由来や、長崎原爆では当初、小倉が投下目標となっていたことなどを説明した。

土谷さんは「もし小倉に原爆が落とされていた